



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

12月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】相互の理解と尊敬
【宣教】福音の使者である子どもと若者
【日本の教会】日本の観想修道会への援助

「熊本地域諸宗教対話研究会で成功を祈る」

諸宗教部

10月23日(日)、島崎教会において第66回熊本地域諸宗教対話研究会例会が開催された。顧問のS・フランコ神父(真命山院長)は例会の始めに、10月27日(木)教皇と世界の諸宗教者がアッシジに集い開催する「世界平和祈禱集会」についてその主旨や意義を紹介し、参加者でその成功を祈った。その後、9月に諸宗教対話担当に任命された司祭の紹介等が行われた。

シジの聖フランシスコの平和の祈りで始まった。講話の中で、フランコ神父は、「教皇ベネディクト16世は、本年10月27日、アッシジで『世界平和のための省察・対話・祈りの日』をテーマに、平和祈禱会を催されま

す。その祈りに与る意図で、今ここにわたしたちも集まっています」と、今回の研究会の意義を強調した。また神父は、「宗教は決して暴力の動機であってはならず、信仰と諸宗教間対話は平和の基礎でなくてはならない」と語っていることも紹介した。続いて、「世界平和のための祈禱会」の歴史的推移とそ



10月23日(日)、午後2時より島崎教会(熊本市)において開催された第66回熊本地域諸宗教対話研究会は、アッ

シジの聖フランシスコの平和の祈りで始まった。講話の中で、フランコ神父は、「教皇ベネディクト16世は、本年10月27日、アッシジで『世界平和のための省察・対話・祈りの日』をテーマに、平和祈禱会を催されま

第2の講話では、1986年以来毎年行われている「世界平和のための祈禱会」へ毎年出席しているsrマリア(真命山)が、本年9月にミュンヘン(ドイツ)で「共存する

小郡カトリック幼稚園創立50周年を祝う



域の行政と皆様の要請を受け、小郡の地に開設されてもらった小郡カトリック幼稚園が50周年を迎えることができました。温かく見守り、支えてくださった皆様への感謝とその恩に報いたい、そして子ども達の幸せや情勢不安の中で過ごしておられる方々の幸せの助けとなればという気持ちからこの講演会を企画しました」と語った。

11月13日(日)午後、学校法人福岡カトリック学園・小郡カトリック幼稚園は創立50周年を祝って、小郡文化会館にてシスター渡辺和子氏(ノートルダム清心学園理事

長)による講演会を催した。講演会に先立ち、園長の川上惣一神父(光丘教会主任)が挨拶した。川上神父は、「地

域の行政と皆様の要請を受け、小郡の地に開設されてもらった小郡カトリック幼稚園が50周年を迎えることができました。温かく見守り、支えてくださった皆様への感謝とその恩に報いたい、そして子ども達の幸せや情勢不安の中で過ごしておられる方々の幸せの助けとなればという気持ちからこの講演会を企画しました」と語った。

去る10月23日、聖ザベリオ宣教会の創設者ガイド・マリア・コンフォルティ司教、他2人の列聖が聖ピエトロ大聖堂広場で行われ、式典のために世界中の国々から約3万人の人々が集った。

「お年を感じさせないしつかりとした口調で話され、希望を与えてくれるお話で、本当に心洗われる思いでした」などと話していた。

司祭人事
▼養成教化委員会家庭養成部
大塚了平(9月1日付)
▼若松教会主任 中村彰(戸畑教会兼任)
▼飯塚教会主任代行 杉原寛信(新田原教会兼任)
▼茶山教会主任代行 S・リチャード(浄水通教会兼任)

長い間待ちこがれていたキリストの誕生。世界中でお祝いするその日。でも一般の人はその意味内容を知ろうとはしない。ただパーティができればそれでいい。ただその日はみんなやさしい気分になるという。戦争さえも停まってしまう▼さて、生まれて来たのは神の子である。神の子は人として成長し、人の在り方を教え、自らの言葉のままに生きていった。そして人の為に死に、人の為に復活の偉業を果たした。彼は、かつて神から離れてしまった人を再び神の元に呼び戻した。神と人との和解を命がけて成し遂げたのである。彼は平和の使者であり、「平和の君」と謳われるようになった。彼は人々の間に平和をもたらしたのである▼ある教皇はその著書の中で、「平和は真理と正義と愛と自由を必要とする」と語っている。真理の裏返しは嘘、偽りの世界、正義の反対は不正、不義の世界、愛の反対は無関心、無理解、無視の世界、そして自由の裏返しは放縱、無責任の世界と言うことが出来る。それらの世界には平和は存在しないことになる▼神の子イエスは「私は真理であり、(正しい)道であり、命である」と話した。その人そのものであり、愛を訴え、愛に生き、(悪に捕われずに)自由に、責任ある行動をされた方である。彼がもたらした真の平和を社会が受け入れてくれるように願う。クリスマスは時だけ戦いを止めるのではなく、普通に争い事がないように願う。家庭の平和、共同体の平和、世界の平和はすぐ近くに來ているのだが...

時の話題

Sr. 宮脇窈子

「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身になりましますように」(ルカ1:38)

降誕に繋がっている。エリザベトはマリア様の訪問を受けた時、「あなたは女の中で祝福された方、胎内のお子さまも祝福されています。主がおっしゃったことは必ず成就すると信じた方はなんと幸いです。どうぞお祈りください。」(ルカ1:43-45)と言っています。

マリア様の「はい」

「君」イエスのご誕生、クリスマスのご喜びにも与れなかつたでしょう。わたくしは、いつも神の呼びかけに心の耳を傾け、マリア様の「はい」に、誰からか何か頼まれたら、いつでも、どこでも「はい、わたしです。どうぞお祈りください。わたしは、主のはしためです。お言葉どおり、この身になりましますように」(ルカ1:38)と言っています。

「君」イエスのご誕生、クリスマスのご喜びにも与れなかつたでしょう。わたくしは、いつも神の呼びかけに心の耳を傾け、マリア様の「はい」に、誰からか何か頼まれたら、いつでも、どこでも「はい、わたしです。どうぞお祈りください。わたしは、主のはしためです。お言葉どおり、この身になりましますように」(ルカ1:38)と言っています。

ザベリオ宣教会創立者ガイド・マリア・コンフォルティ司教列聖



聖ガイド・コンフォルティ司教

去る10月23日、聖ザベリオ宣教会の創設者ガイド・マリア・コンフォルティ司教、他2人の列聖が聖ピエトロ大聖堂広場で行われ、式典のために世界中の国々から約3万人の人々が集った。

「お年を感じさせないしつかりとした口調で話され、希望を与えてくれるお話で、本当に心洗われる思いでした」などと話していた。

司祭人事
▼養成教化委員会家庭養成部
大塚了平(9月1日付)
▼若松教会主任 中村彰(戸畑教会兼任)
▼飯塚教会主任代行 杉原寛信(新田原教会兼任)
▼茶山教会主任代行 S・リチャード(浄水通教会兼任)

長い間待ちこがれていたキリストの誕生。世界中でお祝いするその日。でも一般の人はその意味内容を知ろうとはしない。ただパーティができればそれでいい。ただその日はみんなやさしい気分になるという。戦争さえも停まってしまう▼さて、生まれて来たのは神の子である。神の子は人として成長し、人の在り方を教え、自らの言葉のままに生きていった。そして人の為に死に、人の為に復活の偉業を果たした。彼は、かつて神から離れてしまった人を再び神の元に呼び戻した。神と人との和解を命がけて成し遂げたのである。彼は平和の使者であり、「平和の君」と謳われるようになった。彼は人々の間に平和をもたらしたのである▼ある教皇はその著書の中で、「平和は真理と正義と愛と自由を必要とする」と語っている。真理の裏返しは嘘、偽りの世界、正義の反対は不正、不義の世界、愛の反対は無関心、無理解、無視の世界、そして自由の裏返しは放縱、無責任の世界と言うことが出来る。それらの世界には平和は存在しないことになる▼神の子イエスは「私は真理であり、(正しい)道であり、命である」と話した。その人そのものであり、愛を訴え、愛に生き、(悪に捕われずに)自由に、責任ある行動をされた方である。彼がもたらした真の平和を社会が受け入れてくれるように願う。クリスマスは時だけ戦いを止めるのではなく、普通に争い事がないように願う。家庭の平和、共同体の平和、世界の平和はすぐ近くに來ているのだが...

司教団
メッセージ

いまずぐ原発の廃止を 福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして

原発については、国民一人ひとり、また、様々な立場からその是非について議論されています。採算がとれるかどうかといった経済的な立場、子どもたちの健康や市民生活の安全を守る立場、国際競争力を保持しようとする立場など…。しかし、カトリック教会は原発の是非に関する問題は倫理的な問題、人間の命の問題でもあると考えます。また、私たちはすべての人と連帯して、神の被造物である自然や環境、すべての生命を保護していく責任を持っています。以上の二つの立場から、宗教者として原発の是非について発言する責任を果たしたいと考えています。このメッセージは、日本のカトリック信徒だけではなく、日本に住むすべての人々に向けた呼びかけとしました。

日本に住むすべての皆様へ

東日本大震災によって引き起こされた福島第一原発の事故により、海や大地が放射能に汚染され、多くの人々の生活が奪われてしまいました。現在でも、福島第一原発近隣の地域から10万人近くの住民が避難し、多くの人が不安におびえた生活を余儀なくされています。

原子力発電の是非について、わたしたち日本カトリック司教団は『いのちへのまなざし—21世紀への司教団メッセージ—』のなかで次のように述べました。「(核エネルギーの開発は)人類にこれまでになくエネルギーを提供することになりましたが、一瞬のうちに多くの人々のいのちを奪った広島や長崎に投下された原子爆弾やチェルノブイリの事故、さら

に多くの人々のいのちを危険にさらし生活を著しく脅かした東海村の臨界事故にみられるように、後世の人々にも重い被害を与えてしまうことになるのです。その有効利用については、人間の限界をわきまえた英知と、細心の心に心の注意を重ねる努力が必要でしょう。しかし、悲劇的な結果を招かないために、安全な代替エネルギーを開発していくよう希望します。」(1)

このメッセージにある「悲劇的な結果」はまさに福島第一原発事故によってもたらされてしまいました。この原発事故で「安全神話」はもろくも崩れ去りました。この「安全神話」は科学技術を過信し、「人間の限界をわきまえる英知」を持たなかったゆえに作りだされたものでした。

わたしたちカトリック司教団は『いのちへのまなざし』で、いまずぐに原発を廃止することまでは呼びかけることができませんでした。しかし福島第一原発事故という悲劇的な災害を前にして、そのことを反省し、日本にあるすべての原発をいまずぐに廃止することを呼びかけたいと思います。

もありません。しかし、なによりまず、わたしたち人間には神の被造物であるすべてのいのち、自然を守り、子孫により安全で安心できる環境をわたくし責任があります。利益や効率を優先する経済至上主義ではなく、尊いいのち、美しい自然を守るために原発の廃止をいまずぐ決断しなければなりません。

わたしたちカトリック司教団は『いのちへのまなざし』で、いまずぐに原発を廃止することまでは呼びかけることができませんでした。しかし福島第一原発事故という悲劇的な災害を前にして、そのことを反省し、日本にあるすべての原発をいまずぐに廃止することを呼びかけたいと思います。

新たな地震や津波による災害が予測されるなか、日本国内に54基あるすべての原発が今回のような甚大な事故を起こす危険をはらんでいます。自然災害に伴う人災を出来る限り最小限に抑止するためには原発の廃止は必至です。

確かに、現代の生活には電気エネルギーを欠かすことはできません。しかし大切なことは、電気エネルギーに過度に依存した生活を改め、わたしたちの生活全般の在り方を転換していくことなのです。日本には自然と共生してき

た文化と知恵と伝統があり、神道や仏教などの諸宗教にもその精神があります。キリスト教にも清貧という精神があります。そして、わたしたちから求められる生き方、つまり「単純質素な生活、祈りの精神、すべての人々に対する愛、とくに小さく貧しい人々への愛、従順、謙遜、離脱、自己犠牲」(2)などによって、福音の真実なあかしを立てる務めがあります。わたしたちは、たとえ節電に努める場合も、この福音的精神に基づき単純質素な生活様式を選び直すべきです。(3)またその精神を基にした科学技術の発展、進歩を望みます。それが原発のない安心で安全な生活につながるでしょう。

風化させてはいけない 東日本大震災



聖マリア学院大学 ボランティア報告会

11月12日・13日の両日、久留米市の聖マリア学院大学では学院祭が開催され、その中で被災地ボランティア報告会が行われた。両日で約130人が来場。報告会は9月2日〜9月7日まで仙台教区サポートセンター釜石ペースで

12日(土)は10時〜16時まで写真洗浄。これは釜石で行ったボランティア活動の写真を洗浄し、作業があったため、報告会の中でも同じ体験を通して思いを一つにすることを目的としたもので、福岡市のボランティア団体「思いの品をきれいにする隊」の協力のもと実施した。

震災発生時に撮影されたDVD鑑賞を行い、小グループに分かれて各人の思いを語り合った。写真洗浄を体験した家族は、「被災地のために何かをしたい」と思っているが、実際に取り組めることがなかなか見つからなかった。今回はいい機会をいただいた」と語った。

や仮設住宅建設のために赴いたことのある人や、震災による被害や被災地を思い、心を痛めている人がその心情を分かち合うことができ、終了時間が来て話も話も尽きない様子であった。

報告会を企画した学生達は、来年の春に釜石を再訪したいと希望している。また被災地のことを忘れないでいるために自分達にできることをさらに考えていきたいと

人に喜ばれ、誇りに思ってもらえる存在になること。この麦島の地は希望の地、最高の幸せを約束する地です」と説いた。そして、4年前に上演されたオペラ「アグネス」に触れ、「八代市民は、麦島が世界に誇れる地、ここでの出来事は世界に自慢できると敏感に感じ取り、反応した。こうした人々が新しい風を起してくれ」と、出席した市民に温かい言葉を贈った。その上で全出席者に「麦島を世界に誇れる巡礼地、聖地にしてほしい」と呼びかけ、そのための協力を依頼した。

教区災害支援室

- *長崎教会管区では岩手県大槌町に準備中のサポートセンターの開所式を12月13日(火)に行うことになりました。利用については、今月中には宿泊など可能になります。
 - *ボランティアの参加者が減少している中、ボランティアの数は増加しています。ボランティアの人数も増えています。
 - *カリタスジャパンでは、被災地までの旅費について、復元の日数を加えて2週間以上のボランティア参加者には、交通費の全額負担を、福岡教区災害支援室の松井忠之神父にお尋ねください。
 - *ボランティアは老若男女問わず募集しています。
- ◆支援室連絡用
電話：092-522-5139
F：092-523-2152
Mail：cdf-curia01@mbe.nifty.com

八代殉教祭に450人



11月6日、八代殉教祭が殉教の地・麦島を会場に行われ、激しく降る雨の中、地域の人を含むおよそ450人が集い、記念ミサを通して11人の福者に祈りを捧げた。今回は「熊本地区殉教祭実

行委員会」が組織され、3人の司祭と小教区の代表たちが1年以上かけて練った計画が実行に移された。県下のほぼ総ての小教区が応援に駆けつけて、準備が進められた。会場は小西行長が築いた城跡にほど近い。散り残った桜葉が雨に打たれ、晩秋のたたずまいの中にテントが張られ、祭壇が置かれた。ミサに先立ち、八代市立博物館の学芸員鳥津亮二氏が、麦島の地、八代の殉教の歴史の意味を市民の目から解き明かした。

一息



* * 最後まで母に教わることであり 坂牧春妙
詩ごころわたしにくれたちひろの絵 深堀正平

来住英俊神父による待降節の講話

- 一泊黙想会 費用：全日程 9,000円 通い(1日2,000円+食費)
- ①12月10日(土) 17:00~11日(日) 15:00
テーマ：ディケンズ『クリスマス・キャロル』を読む
- ②12月17日(土) 17:00~18日(日) 15:00
テーマ 「神は人となられた」

カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索



ミサ用ワイン

ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUL-EN)

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

子ども聖体行列と信徒発見返礼巡礼 今村教会

稲刈りも終わり、秋も深まった10月最後の日曜日、今村教会では今年も聖体行列が行われた。来年2月26日の今村教会信徒発見145周年を控え、今年の聖体行列は信仰の継承を願い、信仰教育の一環として、小・中学生の手による聖体行列が雨天のため、聖堂内で行われた。

まず、子ども達は夏の子ども黙想会で「今村信徒発見」について学んだ。1865年3月17日の長崎信徒発見から二年後の1867年、大浦天主堂のローケイ神父の調査

依頼を受けた4人の浦上信徒は2月23日、天主堂に行き、聖体を拝領した後、今村に向け出発している。彼らが今村に到着した25日は、おりしも四旬節の金曜日。一夜の宿を求め旅人を装い、夕食の菜に「鳥はどうか？」と尋ねられ、「今は鳥獣の肉は食べない」（四旬節の犠牲）ということ、共にキリシタンであることが判明したという摂理であった。しかし、いまだに禁教令が続いていた時代で、その年の7月には、あの「浦上四番崩れ」が起り、浦上の全信徒は全国各地の藩に流罪の刑を受けたことも子ども達は学んだ。

その姿に、両親は日比野教会で受洗。「祈りによって世の中を変えたい」とカルメル会に入会して6年、修練期を経て今日の日を迎えた。

「一番安心な方に付き添われて旅立つのだから（トビト記）という中川神父様（カルメル会）の言葉に励まされてきました」という母親の言葉には、Sr.日當瀬への深い思いが込められており、印象的であった。晩秋のカルメル山の静けさの中、祈り、捧げるカルメリットの新たな旅立の日であった。（友の会記）

子ども達はその日のミサ及び聖体行列の典礼全てを担当することで、先祖達から伝えられてきた信仰を改めて考える一日となった。



尚、聖体行列の4日後の11月3日に今村教会の子ども達は信徒発見返礼巡礼を行うことになり、26聖人の西坂から信徒発見の MARIA 様の大浦天主堂まで、ロザリオを唱えながら徒歩巡礼を行った。

10月30日、福岡カルメル修道会は、今年2回目の喜びの日を迎えた。宮原司教主司式、男子跳足カルメル修道会九里神父（管区長）・糸島教会竹内英次神父・明石健次神父（東京大神学校）・名古屋日比野教会山口神父（カルメル会）の共同司式により、ルルドの聖母マリア・ベアトス・ノエル Sr.日當瀬由記さんの荘厳誓願宣立ミサがカルメル会聖堂において執り行われた。

Sr.日當瀬の出身教会（浦上教会）・名古屋教会日比野教会・名古屋と福岡のカルメル在世家・長崎CLCから、また福岡教区から、この日を共にと多くの信徒たちが集ま



東京・福岡両キャンパスの神学生が勢ぞろい

11月3日、日本カトリック神学院福岡キャンパスで恒例の召命の集いが行われた。福岡と東京の神学院が合同になって3年目を迎えた今年、東京キャンパスからも神学生がかけつけ、「今わたしたちができること」をテーマに日本全国すべての神学生が集合して行われた。

9時30分の開会式に続き、10時から高松教区の教区長で、神学院常任司教でもある諏訪榮治司教主司式式の野外ミサで始まった。今年の召命の集いも、穏やかな日差しの中



中、例年のごとく福岡教区はもちろん、その他の教区からも1300人以上の参加者が集まった。本年は、聖堂で行われた諏訪司教の講演会や各小教区の作品展示、売店や喫茶室の他、神学生の有志企画として、普段立ち入り禁止の院内を特別に巡ることのできる「院内巡り」、神学院の秘蔵の本を販売する「古本屋」、変わらぬ高い人気を誇る「劇」などが企画された。

最後に整列した全神学生の姿に「これが神学校だね」という信徒たちの声があった。実行委員長で東京教区神学科3年の古郡忠夫神学生は次のように語った。「今わたしたちができること」というテーマの中であって、召命の

集いを精一杯準備して参りました。神学院を訪れた皆さんが何かを感じ取っていただけたのなら幸いです。ご来院いただきました皆さんに心から感謝を申し上げます。

10月22日（土）、吉野天使幼稚園のふれあいバザー、次いで23日（日）には大牟田教会と大牟田天使幼稚園合同ふれあいバザーが行われた。

こつこつと準備された手作り品あり、取り寄せた物品あり、焼きそばにおでん、たこ焼き、綿菓子など食べ物や飲み物あり、それにたくさんゲームあり。間には、腹話術



熱戦が続いたソフトボールの試合

10月24日（月）、カリテス（福岡教区司祭団）対九州ダルク（美野島司祭団）の試合が神学院福岡キャンパスで行われた。抜きつ抜かれつの攻防戦を2試合繰り広げ、熱戦を博した。この試合では新監督の下町豊重師に初勝利がもたらされた。

カリテスチームも今後とも予断なく練習し、西日本教区司祭団やダルクチーム、大神学生との試合に臨んで行くことを話し合った。笑顔の絶えない交流試合になった。

私は巡礼に参加して、この時代に生まれてよかったと思えました。もし、もつと昔に生まれていたらどうなっていたのかなと考えるととてもわかつたです。それに、昔に生まれてひどいことをされていても、まだ神様を信じられるという自信はあまりないなと思えました。

そして、血のついた着物や、十字架にはりつけにされておきばらをさされた人たちの絵や、神父様のお話を聞いてみると、とても寒気がしてこわいなと思えました。

1867年2月23日に長崎を出発して、今村の信徒を発見して下さって本当によかったと思ひ、私がその時今村にいて4人の人たちに発見されたらともうれしいと思ひます。だから、その時発見してもらった人はとてもうれしかったのではないかなと思ひました。

11月3日に信徒発見返礼巡礼に参加しました。26聖人の地から大浦天主堂まで約4キロ歩きました。長崎は坂が多く歩くのが大変でした。でも、長崎から今村まで歩いた人にな

返礼巡礼に参加して①
6年 青木 優佳

返礼巡礼に参加して②
6年 萩原 篤志

はかないません。ほくらが歩いたのはたつた4キロ。でもほくは、この人たちがこんなに強い信仰を持ち、立派な神父様になりたいと思ひました。歩いてる時、小雨が少しふり、中止になるかなと思ひていたけど、みんながいつしようけんめい祈りをしていたので、天気がよくなりました。神様はきつとほくらを応援してくれたいと思ひます。だから、ほくらもだせるだけの声で祈りをしました。神父様も時々みんなのことを心配していました。こうしてみんなが無事につきました。大浦天主堂についていたら神様に「ありがとう」と言ひました。

吉野天使・大牟田天使2日連日バザー

生涯にわたって倦むことなく続けられた、貧しい人々への驚異的な献身。マザーテレサを動かした原動力は何だったのか？ マザーテレサと身近に接し、神の愛の宣教師、男子部の創立を希望し、マザーとともに創設した著者が、マザーテレサを駆り立てた根源を紹介する。

女子パウロ会発行
税込定価 2625円

☆クリスマスってどんなひ？

ベサン・ジェイムズ 文
ヘザー・スチュアート 絵

天使ガブリエルのお告げからはじまり、イエスの誕生、羊飼いや三人の博士たち、ヘロデ王のたくらみなど、2000年以上むかしの、さしよのクリスマスに起こった数々の出来事を、独特のタッチの絵、わかりやすい文章で忠実に描き出した正統派クリスマス絵本です。クリスマスとはどんな日なのか、子どもたちとともにこの絵本を通して確かめてみましょう。

サンパウロ発行
税込定価 1050円

☆マザーテレサの秘められた炎

J・ラングフォード 著
里見 貞代 訳

マザーテレサの秘められた炎

BOOK 読め専科

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

株 ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅（新築・改築工事）
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール
FUKUOKA

〒810-0044福岡市中央区大宮2丁目1番1号
平日 AM 10時～PM 5時40分
日・祝日 AM 11時～PM 4時（球団E定休日）
TEL 092-741-8888 FAX 092-741-8861
URL http://www.psl-inc.co.jp

ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

福岡地区婦人会
12月6日(火) 10時
トリック大名町教会

青年黙想会(日時)
12月17日(土) 18時
カトリックサテライト

美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます!

福岡結婚準備講座
12月25日(土) 18時半
カトリック大名町教会

熊本
熊本結婚準備講座(日時)
1月21日(土) 2月25日

第50回クルシヨ開催のご案内
日程: 2012年5月4・5・6日
場所: 福岡黙想の家

編集後記
◆今月は紙面の都合上、定期的例会や集会などのお知らせを掲載できません。

待降節

案内板

会合と催し

12月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 12月

10日(土) ~ 11日(日) 待降節1泊黙想会
14日(水) 待降節1日講話
17日(土) 福岡チエナクルム

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ: 典礼暦年間で教会とともに祈る
・日 時: 12月8日(木) 10時~14時半

4日(日) 待降節第2主日/宣教地司祭育成の日(献金)
5日(月) 聖コンフォルティオス教列聖祝い(島崎教会)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

カテドラルでのゆるしの秘跡
日時: 12月17日、1月7日、21日 10時~12時

Table with columns for church names (e.g., 教会, 降誕前夜, 降誕祭, 大晦日, 元日) and times for various parishes across the region.

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院

痛みの相談室
いくま整骨院
平日: 9:30 ~ 12:00
14:30 ~ 20:00

聖書
原文校訂による口語訳
サンパウロ福岡宣教センター
12の休業日 4・11・18・25